

ビニル床タイルの特性

- ・ビニル床タイルはプラスチック製品の性質上、温度変化による伸縮や硬化・軟化が起きます。必ず接着剤にて下地と接着を行うことが基本の施工となります。
- ・接着が不十分な場合、施工後に剥がれや突き上げ、目地隙などを起こすことがあります。
- ・品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあるため、施工の際に調整をしながら施工を行います。

施工・メンテナンスについて

施工の詳細はこちら



メンテナンスの詳細はこちら



製品に関してのご注意

光、熱の影響

ビニル床タイルは光や熱の影響などにより変退色・変形する可能性があります。

直射日光による変退色

長時間直射日光が当たる場所では、変退色が早くなる可能性がありますので、カーテン・ブラインドなどで日よけをしてください。

汚染による影響

強い作用を持つ洗剤、漂白剤などの化学物質や、マジックインキや染料め剤などの汚染物質およびゴム製品等により変退色や変質を招く場合があります。

タバコ

火の付いたタバコを落とした場合はすぐに取り除いてください。こげ跡がつくと取れません。

家具などによる凹み

家具や什器、ハイヒールなどの局所荷重により、凹み跡が残る場合があります。

重量物による損傷

重量物や車輪の移動荷重によって、ビニル床タイルの表面を傷付けたり、膨れを発生させる可能性があります。引きずったり、にじらないようご注意ください。また、重量物を置く場合は、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き荷重を分散させてください。

消毒液・抗菌・除菌スプレーの使用

市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、記載の用法・用量に従い、あらかじめ目立たない箇所を確認してからご使用ください。また過剰な塗布は避け、薬液を含ませた布で拭くか、適量になるべく均一に噴霧するようにし、噴霧後に硬く絞った布巾で水拭きをしてください。また次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）・次亜塩素酸水は、濃色のビニル床タイルおよびビニル床タイル上のワックスが白濁する恐れがあります。また消毒液を使用の際に、容器から液体が床に垂れることがありますので、あらかじめ容器の設置箇所にマットを敷いておくことをおすすめします。

キャスター

キャスター付き椅子および家具を使用しても破損したり表面に凹み傷が生じにくい製品ですが、傷や凹みが見つからないということではありません。特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。

水のかかる場所での使用

水のかかる場所で使用する場合は、必ず足拭きマットをご使用ください。キッチンや洗面所、脱衣所など常に水のかかる場所については滑りやすくなり危険です。

車イスを使用する場合

車イスの繰り返しの使用や、車イス自体の材質・形状などの条件によっては、表面にキズや汚れが付くことがあります。屋外でご使用になった車イスを乗り入れると付着した土砂で、床表面に傷が付くことがありますので、土砂をはらってください。

履き物

スパイク等が付いた靴を使用する場合は、一般の土足歩行とは異なります。傷や汚れが付きやすく、硬質系床材では滑り等にも注意が必要です。

施工上のご注意

■材料の確認

1 材料について

梱包ケースに記載の品名、規格、色番号、ロット番号、数量などを確認し、施工を開始してください。品番・ロットによって寸法や色柄に若干のばらつきがあります。施工の際はご注意ください。またタイル裏面の矢印で流れ方向をご確認ください。方向が変わると色相差のように見えることがあります。

2 現場環境に慣らす

必ず24時間以上前に搬入し、施工環境温度に慣らしてください。

3 適切な保管場所

製品を保管する際は、湿気の少ない平坦な場所で平置きし、6段以上積まないでください。不陸のある床の上に保管すると歪みや癖が発生し、納まりが悪くなります。直射日光のあたる場所での保管は避けてください。

■施工現場の確認

1 温度調整

ビニル床タイルは、施工時の温度に影響を受け易く、室温と床材に温度差があると、施工直後だけでなく、後日、目地隙、突き上げなどを起こすことがあります。低温時は特に接着剤の接着力が弱くなります。現場環境は室温15℃～25℃、湿度75%以下が望ましく、温度が低い場合はジェットヒーターなどの暖房器具で現場を暖めるようにしてください。5℃以下では接着剤の反応が悪くなるため、施工をしないでください。施工の前後12～24時間は室温15℃～25℃、湿度75%以下を保つことが好ましく、直射日光・水洗い・重量物の走行等も避けてください。

2 明るさの確保

現場が暗い場合は、照明器具を用いて十分な明るさを保ってください。

3 清掃

下地に汚れ等があると十分な接着強度が得られないため、汚れを取り除いてください。ワックスが付いている場合は除去してください。

4 下地調整

下地に段差等がある場合は平滑にしてください。また下地の影響等で製品が浮いてしまうような場合は、接着剤が硬化するまで重しを置いてください。

5 施工

6 重ね貼り

木質系下地、木質フローリング、クッションフロア等の上に重ね貼りができますが、クッション性が高い場合や、凹凸差が激しい場合には施工できません。畳、カーペットなどのやわらかい素材には施工できません。既存床の剥がれや傷等は仕上がりに影響しますので補修してください。また汚れやワックス等は除去してから施工してください。

7 接着剤

接着剤にて施工する場合、条件、環境等により使い分けしてください。接着剤は各使用方法に基づきご使用ください。なお接着剤を使用する際は、換気を十分に行ってください。

■施工後の自主点検

接着剤での施工製品は接着剤が硬化する前に補修することが重要です。特にウレタン樹脂系等の接着力の強い施工の場合は、目違い、目地隙等や貼り間違い等が発生すると、硬化後での補修は床材をめくると自体が大変な作業となり、下地まで傷めてしまうことがあります。早期の点検と補修で不具合を防ぐことが重要です。

■養生

養生シートを留める際、粘着テープは直接床材に貼り付けないでください。床材を汚染する原因となります。施工直後に養生シートを使用した場合ビニル床タイルと養生シートの間に結露水や水蒸気・接着蒸気などがこもりビニル床タイルの反り、突き上げなどが生じる場合があるため、養生シートは通気性のあるものを使用してください。

■その他

取り替え部は、製品ロットの違い、日焼け等により色・サイズが合わない場合がありますのでご了承願います。